

# やねうら美術館

## アドベントカレンダーをつくろう

開催日：2016年12月10日

場所：長野県信濃美術館 3階講堂

参加者：大人・子ども 24人

担当：大野 織江、松浦 千栄子

1日にひとつ窓を開けて、クリスマスまでの日数えるアドベントカレンダー。東山魁夷の版画作品《ストックホルムにて》とコラボレーションして、アドベントカレンダーを作りました。大人から子供まで、幅広い層の方にご参加いただき、それぞれに個性豊かなアドベントカレンダーが完成しました。



窓を開けた時見える飾り、全体のデコレーションだけでなく、窓の開き方（切方）にも工夫が。中には、まどがヒビ割れたように開けるられるように切り込みを入れる人もいました。マスキングテープやリボン、クリスマスのシールを使って、それぞれに東山魁夷作品を彩りました。



最初はどんなアドベントカレンダーにするか、考えて手が止まっていた人も、次第に制作に夢中になって、話し声もまばらになってきました。東山魁夷作品を使ったワークショップは少なかったこともあり、幅広い層に興味を持ってもらうことができました。

# やねうら美術館

## おしゃんこワークショップ おめでとうおめでとう！

開催日：2017年1月9日

場所：長野県信濃美術館ロビー

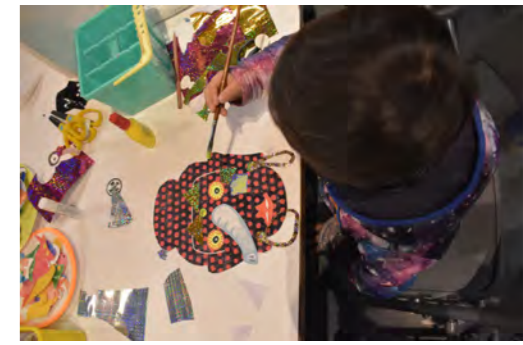
参加費：お面ひとつにつき 200円

参加者：大人・子ども 28人

講師：アーティストユニット おしゃんこ

宇佐美朋子（イラストレーター・練込陶芸家）、きゃねこ（動物をつくるひと）、  
谷奈津美（デザイナー）、二宮佐和子（刺繍アーティスト）

東京で活動する女性4人のアーティストユニット「おしゃんこ」を講師に迎え、おしゃんこ作成の  
いろんなパーツを貼り込んで、福お面を作りました。各地で不思議なお面をつくるワークショップ  
を行っているおしゃんこも、地方での開催ははじめて。長野に合わせたご当地パーツも多数あり、  
たくさんのお客様が楽しみました。



ボンドを使ってパーツを張り付けたり、マジックで絵を描いて、それぞれに不思議なお面をつくりました。  
蛍光塗料を塗れば、ブラックライトで浮かび上がるように光ります。会場の隅に設置した、ブラックライト  
コーナーでは、完成した作品を楽しんだり、途中で様子を見て、さらに蛍光塗料を塗ったりして、皆さん思い  
思いに使って楽しんでいる様子でした。

